

2023年

保護者向け情報シリーズ
Maryland州での特別教育サービス:

保護者の権利と手続き 的な保証の通知

特別教育
プロセス

保護者の権利

IEPの理解に
ついて

中等教育への
移行



はじめに

Maryland州の「保護者の権利と手続き上の保護措置に関する通知」は、Maryland州の「3歳から21歳までの保護者向け情報シリーズ」の1つであり、Maryland州の特別教育のプロセスやサービス制度において、州全体でご家族を支援することを目的とした出版物の一群です。

目次

4 ページ

保護者の権利と手続き的な保証の通知

4 ページ

法律で定められていること

5 ページ

権利の理解

8 ページ

保護者向けチェックリスト

10 ページ

質問がある、支援を求めている方へのご提案

詳しくはこちら

www.marylandpublicschools.org



Maryland州の保護者の権利 および手続き上の保護措置に関する通知

Maryland州では、特別教育サービスを受ける資格があると判断された児童の各家族は、州の正式な手続き上の保護措置に関する小冊子を初めて受け取ります。

正式な手続き上の保護措置の小冊子には、連邦政府個別障害者教育法 (Individuals with Disabilities Education Act (IDEA)) およびMaryland州規則集 (Code of Maryland Annotated Regulations (COMAR)) で定められた保護者の権利についての十分な説明が記載されています。

「保護者の権利と手続き上の保護措置」の小冊子の一部として、ご家族には手続き上の保護措置に関する情報の問い合わせ先 (誰に、どこ

に) 情報が提供されます。すべての地方教育機関 (Local Education Agencies (LEA)) および公的機関 (Public Agencies (PA)) には、保護者の権利を理解し、特別教育プロセスを進めるための家族支援スタッフがいます。

家族は親権を取得しなければなりません: 手続き上の保護措置の小冊子は、児童が特別教育サービスを紹介された時、その後少なくとも1年に1度、書面による州からの苦情または適正手続きに関する苦情を受けた時、IEP*を持つ生徒の停学が決定された時、および保護者の要請があった時に発行されます。



法律で定められていること

IDEAは、国内全土で障害がある児童がサービスを受けられることを保証する連邦法です。障害のあるすべての児童が、特別教育と、その児童固有のニーズを満たし、進学、就職、自立した生活の準備のための関連サービスを重視した、無償の適切な公教育を受けられるようにすることを目的としています。



権利の理解

MARYLAND州では、家族には以下の権利があります：

母国語での情報受領

Maryland州法は、学校の人口の1%以上が家族の母国語を話している場合、生徒のIEPをその家族の母国語に翻訳することを義務づけています。「保護者の権利に関する手続き上の保護措置」の小冊子は25カ国語で提供されており、MP4やYouTubeを通じて聴覚障害者の家族もアクセスできます。また、視覚障害のあるご家族のために、「保護者の権利 Maryland州手続き上の保護措置」の小冊子もご希望に応じてご用意しています。

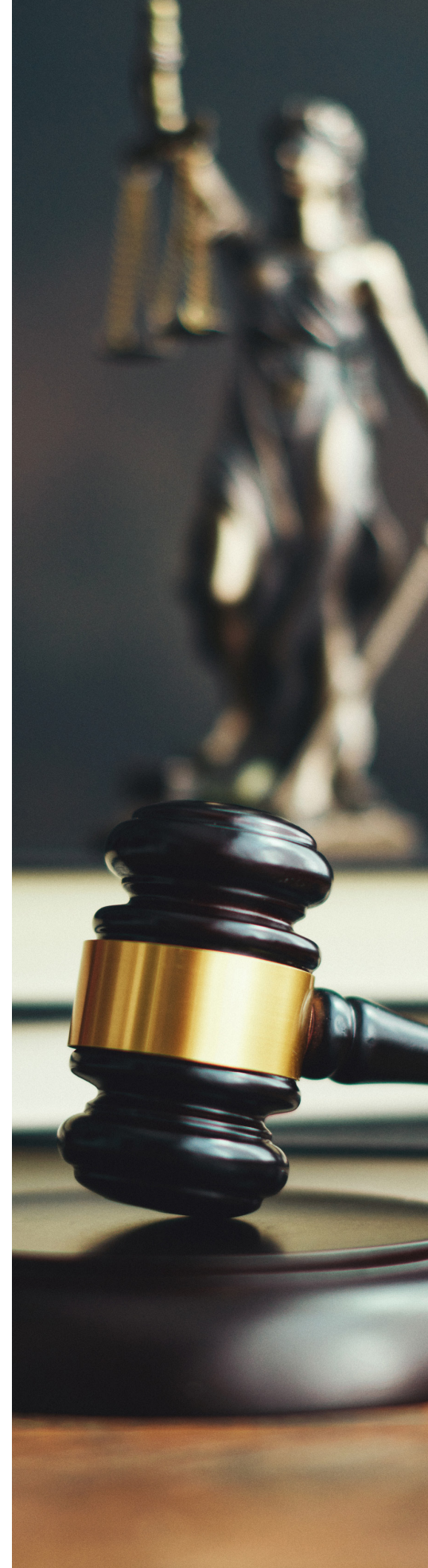
実施される前の妥当な時期に、児童の教育プログラムに関するIEPチームの決定に関する情報の受領

保護者は、学校が児童の教育プログラム（児童の本人確認、評価、配置、実施される目標、措置、または児童が受けるサービスを含む）を変更する前に、妥当な時期に通知を受ける必要があります。

児童と家族の個人情報の秘密保持の要求

ご家族には、児童の教育記録を確認し、不正確な情報が含まれていると感じた場合には、その訂正を求める権利があります。すべてのLEAとPAは、生徒の記録の訂正について、家族が従うべき方針と手続きを定める必要があります。

児童に関する個人を特定できる情報が公開される場合は、ごく一部の場を除き、事前に保護者の同意が必要となります。児童に関するすべての文書が教育記録の一部とみなされるわけではありませんが、情報は守秘義務を維持する必要があり、一部の例外を除き、保護者の同意なしに公開することはできません。児童の教育記録は、学校制度を去った後、一定期間後に破棄されますが、保護者は破棄されるまでの間、教育記録の書類を請求できます。生徒が通学していた公立学校から、これから通学する公立学校へ生徒の記録を移行する場合、保護者の同意は必要なく、速やかに手続きを完了させる必要があります。公立校と私立校の間での記録の移行には、保護者の同意が必要です。



学校制度に独立の教育評価 (IEE) 費用の要求。

家族が、LEAまたはPAが実施した評価または査定の結果に同意できない場合、家族は、学校制度または機関に雇用されていない独立した評価者による児童の評価を要求し、LEAまたはPAに評価費用を負担してもらう権利があります。また、特別教育評価の参照を行い、特定の期限内に生徒のIEPチームからの返答がない場合、家族はIEEを要求することができます。家族がIEEを要請した場合、LEAまたはPAは30日以内に、評価資金提供の要請に同意するか、評価を擁護するための正式な紛争解決を要請することで対応する必要があります。

児童の懲戒処分保護享受の要求。

IDEAは、LEAまたはPAが特定の懲戒処分を行った場合、IEPを持つ生徒に対して非常に具体的かつ詳細な手続きと保護を規定しています。これらの保護は、すでにサービスを受ける資格のある生徒、資格決定過程にある生徒、資格はないがLEAまたはPAが特別教育を受ける資格があると知っていたはずの生徒に適用されます。

児童の特別教育決定権の保持。

Maryland州では、児童が18歳になっても特別教育の決定権は保護者にあります。特別教育の決定権を生徒に移転できる状況は限られています。この手続きにはプロセスがあり、成年時に意思決定権を移転する前に満たすべき基準が設けられています。

一方的に児童を私立学校に入学させても、自動的に学校制度がその資金を提供することは期待できない。

家族は、IEPチームによる配置に同意できない場合、児童を私立学校に入学させられますが、LEAまたはPAがその費用を負担することはできません。家族は、調停や適正手続きの審理などの紛争解決手続きを利用し、児童の配置に関する懸念を解決できます。

保護者がいない場合の代理人選任

特別教育の手続きを支援できる保護者の定義を満たす人物が生徒にいない場合、LEAまたはPAは、その生徒の保護者代わりを選任することができます。保護者代理人は「国」であってはなりません。つまり、生徒を担当するソーシャルワーカーを保護者代理人として任命することはできません。保護者代理人は、LEAまたはPAから研修を受け、Maryland州教育局 (Maryland State Department of Education (MSDE)) にその任命が通知されます。



多くの特別教育プロセスに対する同意、または同意の取り消し。

多くの特別教育プロセスに対する同意、または同意の取り消し。

以下の場合、保護者の同意が必要です。

- 個人評価の実施
- 特別教育サービスの開始
- 代替学力基準への参加
- 州の代替評価への参加
- 児童のIEPまたは行動介入計画に、拘束または隔離の使用を含む。

これらの行為に関する事前の同意について、家族はいつでも撤回できます。

児童の本人確認、評価、教育的配置、または無償の適切な公教育の提供に関する意見の相違を解決します。

児童のためのサービスについて、パートナーの意見が一致しないこともあります。意見の相違が生じた場合、家族は、調停、適正手続き公聴会、正式な州への提訴のいずれか(またはすべて)の手続きを求める権利を有します。

調停:

調停は、紛争解決のための秘密厳守の任意手続きです。パートナーがそれぞれの意見を述べ、訓練を受けた調停人が問題に対する互いの立場を理解するのを助けます。調停人の役割は、パートナー同士が問題を話し合い、解決策を導き出すのを助けることです。調停人は、見解を示したり、味方をしたり、解決策を勧めたりしません。

適正手続きのヒアリング:

適正手続きのヒアリングは、行政法判事による正式な手続きです。当事者は証言を行い、それぞれの立場を支持する証人や証拠を提出します。行政法判事の役割は、ヒアリングを行い、意見の相違を解決する決定を下すことです。

正式な州からの苦情:

IDEAまたはMaryland州法または規則に違反があると保護者が考える場合、MSDEに苦情申し立てをすることができます。州から苦情が提出された場合、MSDEはその苦情について調査し、違反行為を是正するために(必要であれば)変更を要請する責任を負います。



保護者向けチェックリスト

次の質問に「はい」と答えられますか？

Maryland州の手続き上の保護措置制度を理解することは、家族が生徒の教育に参加する上で重要です。以下の質問のいずれかに「はい」と答えられない場合は、お住まいの地域またはMSDEの家族支援チームが情報と支援を提供します。

特別教育プロセス

- Maryland州における特別教育のプロセス(サービス、手続き、スケジュール、手続き上の保護措置など)を理解していますか？
 - 評価プロセスと資格の決定方法を理解していますか？
 - 評価プロセスにおける自分の役割を理解していますか？
 - お子様の評価を計画する上で、家族の懸念や優先事項を共有できることを知っていましたか？
 - 評価に同意書の提出が必要なことを理解していますか？
 - 同意を必要とするあらゆるプロセスについて、いつでも同意を撤回できることを理解していますか？
 - お子様は特別支援教育サービスを受ける資格がある理由を理解していますか？
 - お子様は特別教育サービスを受ける資格がないと判断された場合、その理由を理解していますか？
- 手続き上の保護措置について理解するために支援が必要な場合、問い合わせ先をご存知ですか？

The Individualized Education Program (IEP)

- IEPの目的を理解していますか？
- IEPチームにおける自分の役割を理解していますか？
- IEPの完了と見直しのスケジュールを知っていますか？いつでもIEPの見直しを要求できることを理解していますか？
- お子様のIEP目標と目的、目標を達成するために使用される戦略とサービスを理解していますか？
- 目標が退学後のお子様の移行にどのように役立つかを理解していますか？



- サービスの開始時期、実施頻度、実施場所、提供実施期間をご存知ですか？
- サービス開始には、書面による同意書の提出が必要であることを理解しましたか？
- サービス開始の書面による同意書を一度提出すれば、再度提出する必要がないことをご存知ですか？
- 進捗の判断方法をご存知ですか？
- サービスの変更依頼方法をご存知ですか？
- サービスがお子様の学校での成果にどのように役立つかを理解していますか？
- 移行プロセス（他の機関、移行活動、目標、お子様の教育プログラムがどのようにこれらのサービスに向けているかなど）を理解していますか？
- 退学のプロセスを理解していますか？

保護者の関与:IEPプロセスへの完全参加

- 母国語または手話などのコミュニケーション手段による情報共有が必要な場合、地域のIEPチームはその必要性に応じましたか？
- 学校と協力することで、お子様の学習をどのように手助けできるかを理解していますか？
- お子様の教育プログラムに懸念がある場合、どうすればよいかご存知ですか？
- アドボカシーや家族支援プログラムについて、またその利用方法についてご存知ですか？
- 教育情報の共有方法やお子様の記録の守秘方法をご存知ですか？

- お子様の教育プログラムにとって重要な文書やメモを保存していますか？以下の文書を含む：

- 現在および過去のIEP
- 医療評価報告書
- 評価報告書
- 保護者の権利/手続き上の保護措置に関する通知
- 署名入りの情報公開書式
- 教師からの注意事項
- サービス提供者からの連絡
- IEPチーム会議のメモ
- 電話での会話のメモ

- Maryland州には、家族支援サービス(Family Support Services (FSS))コーディネーターの全州ネットワークがあることをご存知ですか？FSSコーディネーターは、障害のある児童の家族を支援するために、以下のようなサービスを提供しています：

- 早期介入および特別教育サービスに関する質問への回答
- 移行計画における家族への支援
- 意見の相違を解決するための詳細情報の提供。

ケースマネージャーが、地域の家族支援サービスコーディネーターの情報(連絡先を含む)を提供してくれることをご存知ですか？



質問がある、支援を 求めている方へのご提案

地域の家族支援サービスコーディネーター

地方の学校制度	誕生～5歳	5歳～21歳
Allegany	240-920-6829	240-920-6829
Anne Arundel	410-424-3270	410-424-3258
Baltimore City	410-396-1666	443-642-3848
Baltimore County	443-809-9696	443-809-5443
Calvert	443-550-8406	443-550-8375
Caroline	410-479-3609	410-479-3609
Carroll	410-751-3955	410-751-3955
Cecil	410-996-6230	410-996-6230
Charles	301-934-7456	301-934-7456
Dorchester	410-901-6915	410-901-6915
Frederick	240-578-1244	240-236-8744
Garrett	301-914-1351	301-914-1351
Harford	410-273-5579	410-273-5579
Howard	410-313-7161	410-313-7161
Kent	410-778-5708	410-778-5708
Montgomery	240-777-4809	240-753-9487
Prince George's	240-521-5054	301-431-5675
Queen Anne's	410-758-2403、内線135	410-758-2403、内線135
Somerset	410-651-1616、内線11385	410-651-1616、内線11385
St. Mary's	301-475-5511、内線32218	240-309-4113
Talbot	410-822-0330	410-822-0330
Washington	301-766-8221	301-766-8221
Wicomico	410-677-5250	410-677-5250
Worcester	410-632-5234	410-632-5234
Maryland州盲学校 (Maryland School for the Blind)	410-444-5000、内線1489	
Maryland州ろう学校 (Maryland School for the Deaf)	443-277-8899	
Maryland州教育局 (Maryland State Department of Education)	410-767-0255	

MARYLAND STATE DEPARTMENT OF EDUCATION

Mohammed Choudhury

州教育長

Dr. Deann Collins

教育学習局副教育長 (Deputy Superintendent for Office of Teaching and Learning)

Clarence C. Crawford

Maryland州教育委員会会長 (President, Maryland State Board of Education)

Wes Moore

知事

© 2023 Maryland State Department of Education

この出版物は、Maryland State Department of Educationの早期介入および特別教育サービス部門 (Division of Early Intervention and Special Education Services) によって米国からの資金提供を受けて作成されました。教育局、助成金 #H393A090124A、PL 105-17/111-5 障害者教育法/米国復興再投資法に基づく幼児および家族のための特別教育助成金「回復基金」。Maryland State Department of Education, Division of Early Intervention and Special Education Services は、州および地方機関および組織が調整する州全体のサービスおよび支援プログラムであるMaryland Infants and Toddlers Programの主任機関です。この出版物に含まれる情報をコピーまたは共有する使用者は、以下を著作権表記しなければなりません: Maryland State Department of Education, Division of Early Intervention and Special Education Services, Dr. Deann Collins, 教育学習局副教育長 (Deputy Superintendent for Office of Teaching and Learning)。



410-767-0100



www.marylandpublicschools.org



200 West Baltimore Street
Baltimore, MD 21201-2595